



2023年10月26日

各 位

会 社 名 株式会社ウエスコホールディングス
代表者名 代表取締役社長 松原利直
(コード番号：6091 東証スタンダード)
問合せ先 取締役 経営管理本部長 藤原 身江子
TEL 086-254-6111 (代表)

中期経営計画策定に関するお知らせ

当社は、本日開催の取締役会において、昨今の経営環境の変化を踏まえ、中期経営計画を策定いたしましたので、下記の通りお知らせいたします。

記

1. 中期経営計画策定の背景

当社は、2014年に持株会社体制へ移行し、「未来に残す、自然との共生社会」という企業理念のもと、業績は10年間で堅調に推移いたしました。

主要事業である総合建設コンサルタント事業は、近年頻発する自然災害の発生等により受注状況や業績が大幅に変動するため、中長期の計画の情報開示は控えておりましたが、資本収益性や成長性を意識した経営を実践し、地域社会とともに持続的な成長を図るべく、第一次中期経営計画を策定いたしました。

中期経営計画では、資本政策の機動的な実行や人的資本経営の一層の推進を通じて、将来を見据えた事業基盤の再構築を進めるとともに、株主の皆様への安定的な利益還元を行ってまいります。

2. 計画期間

2024年7月期～2026年7月期（3年間）

中期経営計画の詳細につきましては、添付資料をご参照ください。

以上



中期経営計画

2024-2026

株式会社ウエスコホールディングス
(証券コード 6091)

2023年10月26日

	Page
1. 事業概要	2
2. 過年度の振り返り	4
3. 中期経営計画・成長戦略	5
4. 資本・財務戦略	11
5. コーポレート戦略	13

総合建設コンサルタント事業

当社グループの主力事業である総合建設コンサルタント事業は、道路・橋梁・トンネル・鉄道等の交通網や、上下水道等のライフライン、堤防・法面工等の防災施設等の「社会インフラ」の整備において、主に官公庁などの公的機関から発注を受け、設計・調査・測量等に関わる技術的なコンサルティングを行っております。



土木設計	公園緑地・造成	上下水道	河川	地盤調査	測量・航空測量
橋梁・トンネル	都市・交通計画	廃棄物	農業土木	環境調査	施工管理

スポーツ施設運営事業

スポーツ施設運営事業は、岡山県および広島県を事業基盤として、総合フィットネスジム・24時間フィットネスジムを中心に、人々のくらしの品質を健康面からサポートすることを目的にスポーツ施設の運営を行っております。

厚生労働大臣認定 健康増進施設 指定運動療法施設

 **エイブルスポーツクラブ**

24時間フィットネス

 **W-FIT24**

水族館運営事業

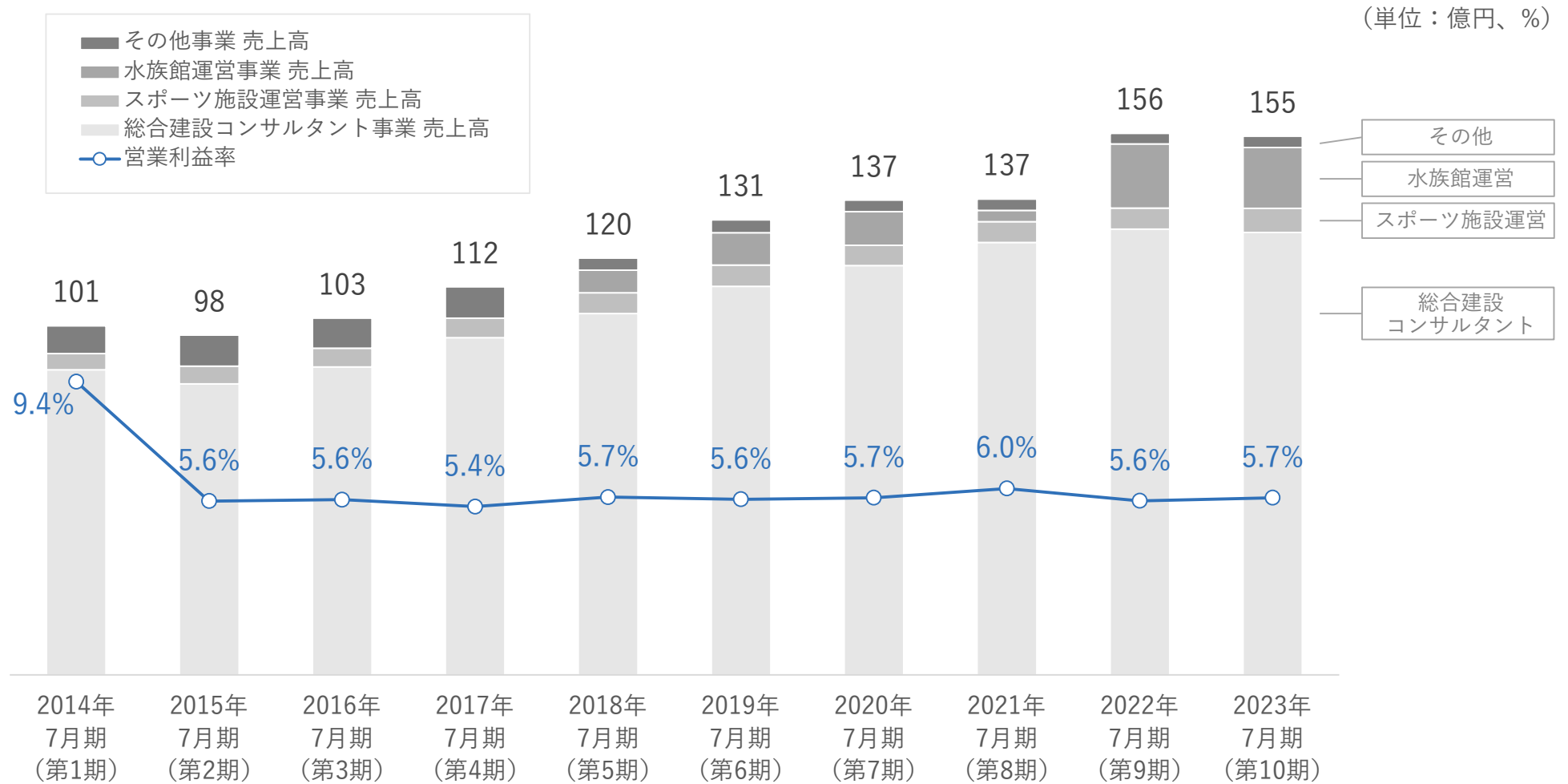
水族館運営事業は、香川県の四国水族館および兵庫県のアトアの主要2施設の運営を中心に、水族館に係る開発計画の策定、水槽設備の設計・製作、生物調達および展示演出等を総合的にマネジメントしております。

 **四国水族館**
SHIKOKU AQUARIUM

 **atōa**
AQUARIUM × ART

過年度の売上高および営業利益率の推移

- 当社グループ設立後、主力の総合建設コンサルタント事業が安定的な公共投資予算を背景に堅調に推移したことや、水族館運営事業の拡大等により、業績は10年間で堅調に推移いたしました。
- 今後、当社グループが地域社会と共に持続的な成長を図るべく、第一次中期経営計画を策定いたしました。



中期経営計画の位置づけ

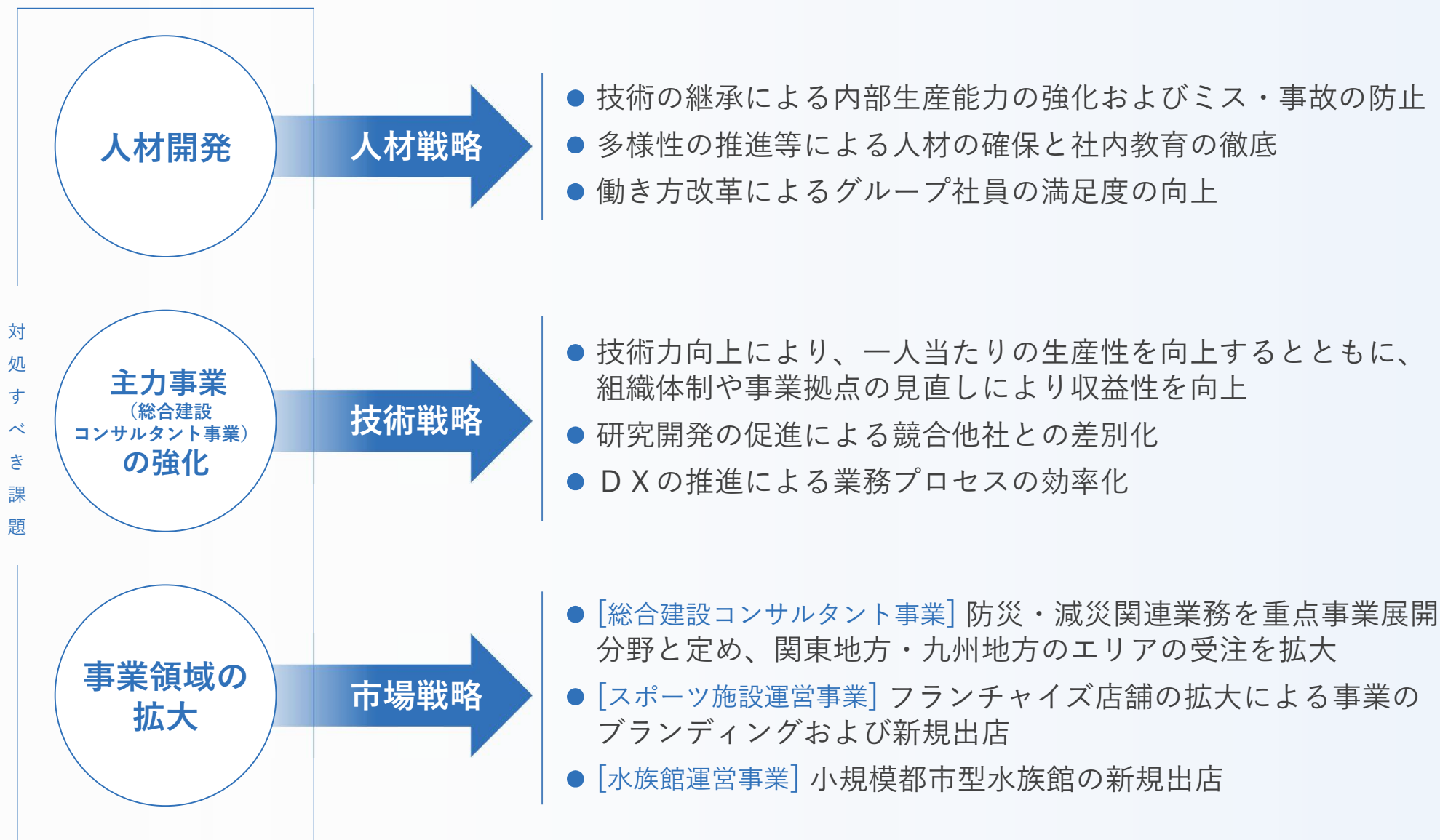
経営方針

当社グループは、「未来に残す、自然との共生社会」という企業理念のもと、各事業分野を通じて、地域社会に貢献するとともに、持続的な企業価値向上に努めることを経営方針としております。

第一次中期経営計画（2024年7月期～2026年7月期）は、10年後を見据えた目標達成に向けた通過点として、「事業基盤の再構築」を行う期間と位置づけ、3項目の主要戦略のもと、中長期的な企業価値の向上を目指します。



事業課題に対する成長戦略

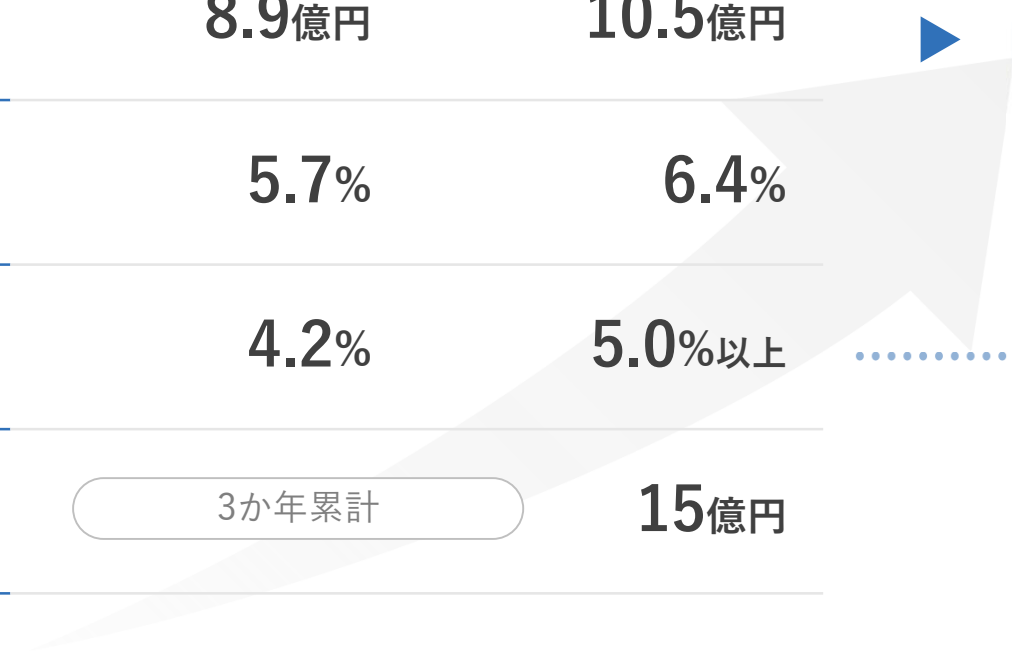


中期数値目標概要

	2023年 7月期（実績）	2026年 7月期（目標）
売上高	155億円	170億円
営業利益	8.9億円	10.5億円
営業利益率	5.7%	6.4%
ROE	4.2%	5.0%以上
フリーキャッシュフロー (営業CF + 投資CF)	3か年累計	15億円

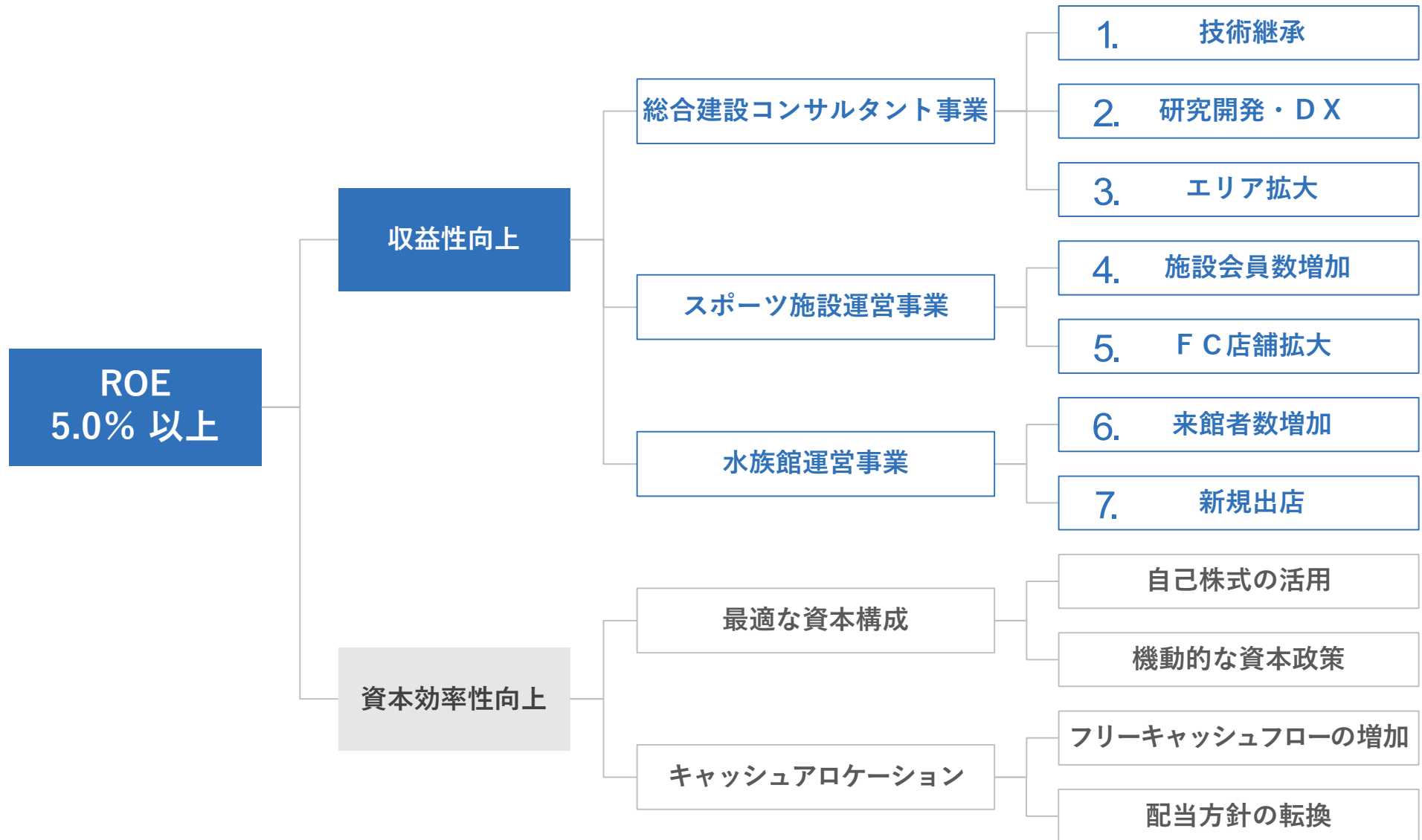
持続的な
企業価値
株主価値
向上

KPI ROE 8%以上
PBRの改善を目指す



ROEの目標値達成までのプロセス

当社グループは、ROEの目標値達成までのプロセスを以下のように細分化し達成いたします。



総合建設コンサルタント事業

2026/7期 KPI

1. 技術継承

- ベテラン技術者からの技術の継承を促進し、40歳以下の管理技術者（技術士・RCCM）を増加
- 社内教育制度を充実させ、ミス・クレームを防止するとともに、管理・主任技術者を早期に養成

2023/7期比

40歳以下
管理技術者数 **200%**

ミス・
クレーム件数 **0** 件

2. 研究開発・DX

- 「3次元の調査・解析・設計」を主要なテーマに研究開発投資を拡大し、競合他社と差別化
- 基幹システムの更新等のDXの促進により、業務プロセスを改善し、生産効率を向上

2024~2026/7期
3年間累計

投資額 **6.5**億円以上

3. エリア拡大

- 防災・減災分野を重点事業展開分野と定め、関東地方・九州地方のエリアの受注を拡大

関東・九州
受注額 **23**億円

スポーツ施設運営事業

4. 施設会員数増加

- 新型コロナウイルス感染症の影響からの回復を目指し、全施設の会員数を回復・増加

2026/7期 KPI
会員数 **7,000**名以上

5. FC店舗拡大

- W-FIT24のフランチャイズ出店を加速し、当該事業のブランディング・収益力を拡大

2024~2026/7期
3年間累計
FC
出店件数 **3**店舗以上

水族館運営事業

6. 来館者数増加

- 四国水族館・アトアの主要2施設において、観光需要等を取り込み、来館者数を増加

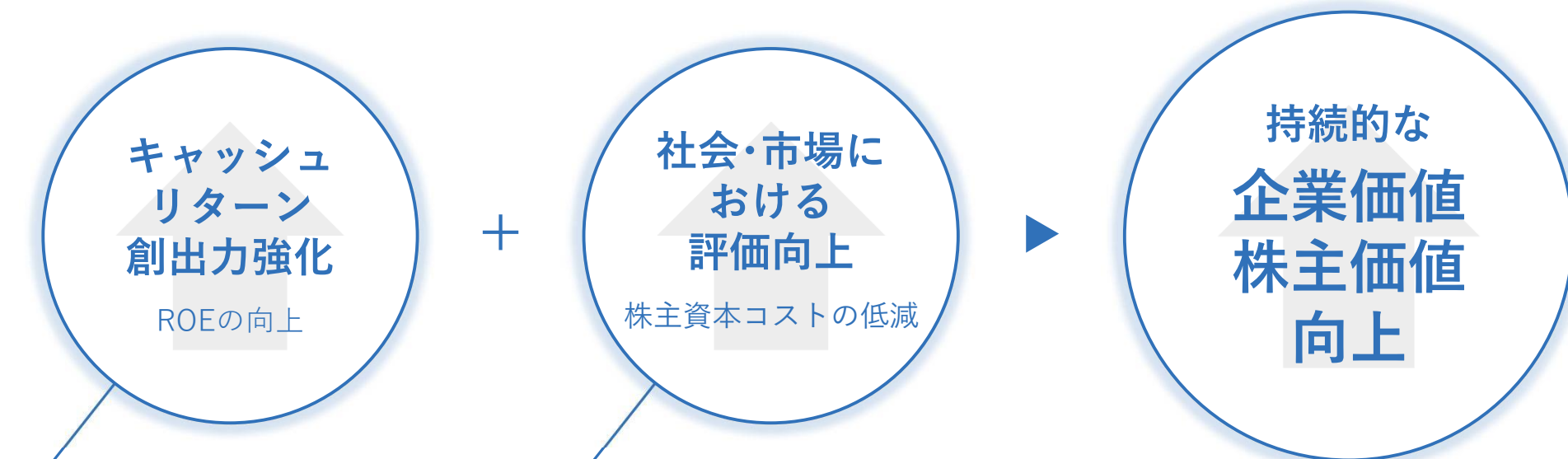
2026/7期 KPI
年間
来館者数 **145**万人以上

7. 新規出店

- 小規模都市型水族館の新規出店により、事業領域を拡大

2024~2026/7期
3年間累計
新規
出店目標 **1**施設以上

財務面・非財務面の両面での取り組みを推進



具体的な施策

● キャッシュリターン創出力強化

- 事業基盤の再構築と成長のための投資を拡大し、各セグメントにおける収益性を向上させることにより、さらなる成長投資や安定的な株主還元の財源（フリーキャッシュフロー）を確保

● 最適な資本構成

- 業績や株価の推移等を考慮し、機動的に自己株式の消却・取得等の資本政策を検討

● 株主資本コストを意識した経営

- 株主資本コストは、4.8%程度で推移断続的に上記指標を上回るROE達成を目指す

具体的な施策

● 配当方針の変更（2024年7月期～）

- 安定的な株主還元と成長投資による中長期的な株価上昇のトータルリターンを目指す

● 持株会の拡大

- 従業員の株式保有による経営参画意識向上およびインセンティブプランの検討

● 財務・非財務情報開示の充実

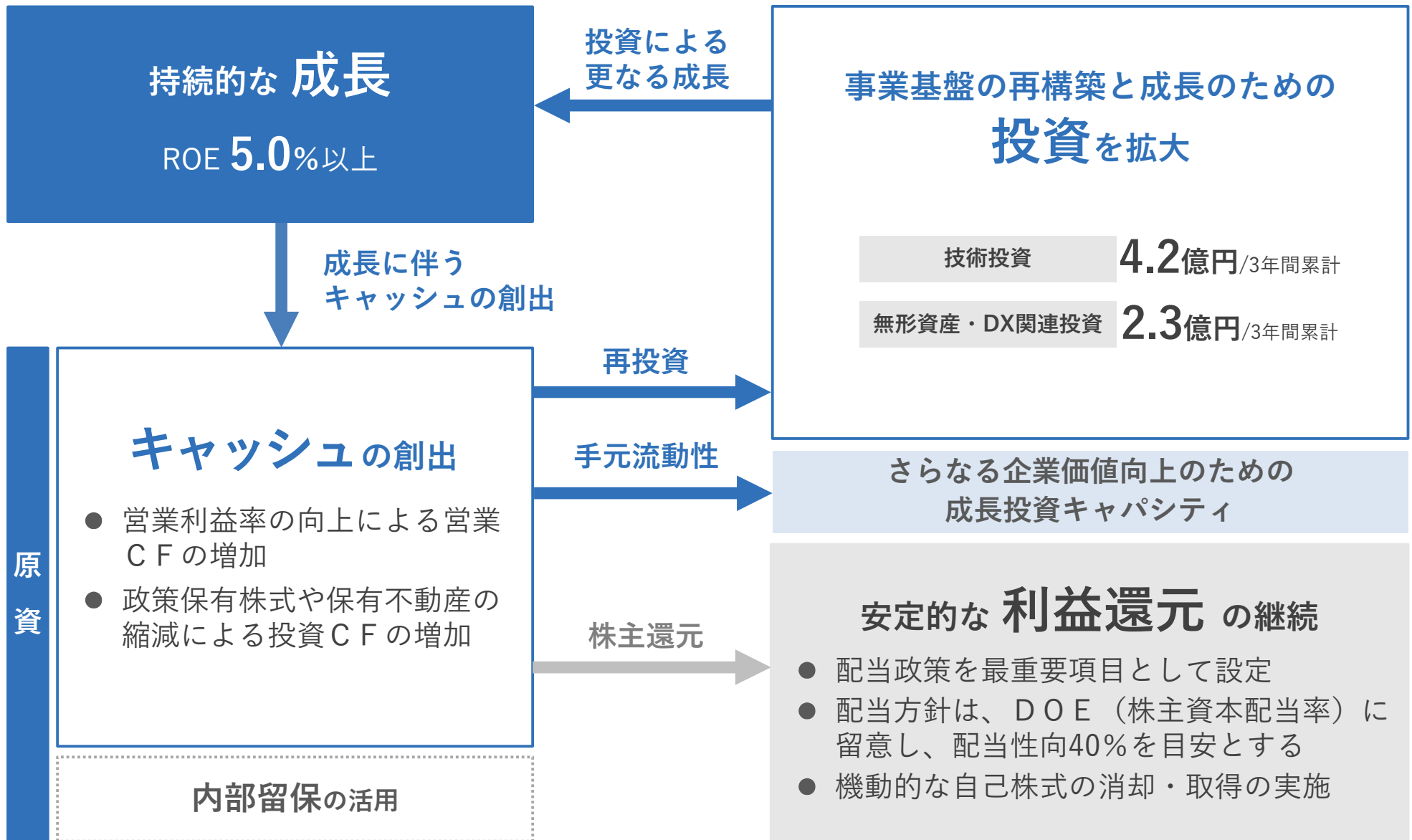
- 人的資本等の無形資産やリスク情報等の非財務情報を含めたIR活動の取組み

● コーポレート・ガバナンスの強化

- ステークホルダーに対して、健全性・透明性の高い経営体制の確立を目指す

● サステナビリティ経営の推進

- 「人的資本」を重要テーマとしたサステナビリティ委員会の設置



サステナビリティ経営の基本方針

当社グループは、「未来に残す、自然との共生社会」という企業理念のもと、総合建設コンサルタント事業、スポーツ施設運営事業、水族館運営事業の3つの主要セグメントにおける事業活動を通じて、社会および当社グループの持続的な発展を目指します。また、当社グループの事業活動の源泉は「人的資本」であり、多様な人材が安心と働きがいを感じる職場環境の整備を推進いたします。

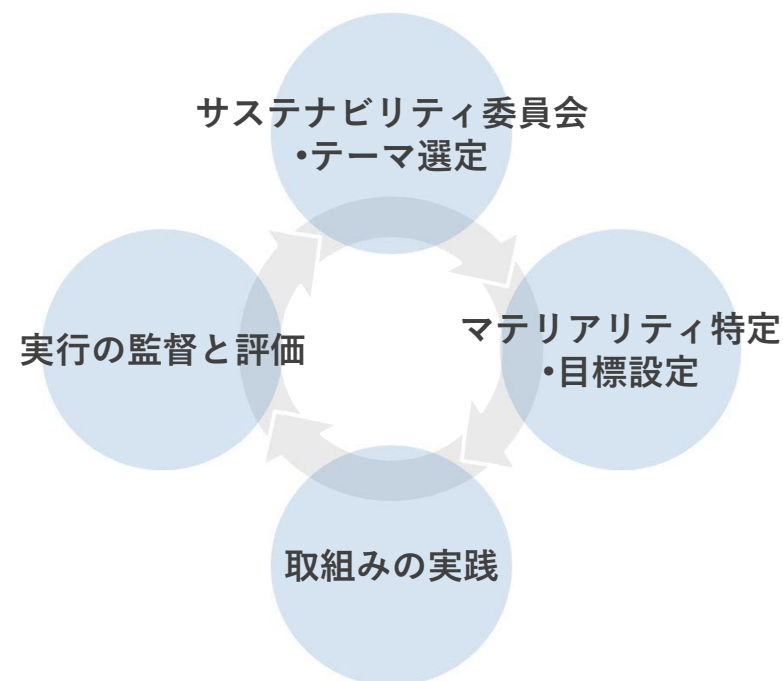
人材育成方針

当社グループは、多様な人材が風通しの良い職場環境で、互いに成長し自己実現の機会を提供する事で、当社グループおよび地域社会の持続可能な発展につながる事を目指します。

社内環境整備方針

当社グループは、「人的資本」を最大の経営資源として捉え、取締役会およびサステナビリティ委員会が中心となり、社内環境整備に係る投資計画の策定や施策の立案・実行により、社内環境の整備を推進いたします。

サステナビリティの実践プロセス



<ご注意事項>

1. 当資料は現時点で得られた情報にもとづいております。
したがって、業況の変化などにより記載の予想と大きく異なる場合があります。
2. 会計基準の改正に伴う変更は、過去のデータには反映しておりません。

<お問い合わせ先>

株式会社ウエスコホールディングス 経営企画室

〒700-0033 岡山県岡山市北区島田本町2-5-35

当社ウェブサイト：<https://www.wescohd.co.jp/>

上記ウェブサイトにアクセスいただき、「お問い合わせ」フォームよりご連絡ください。